

# デジタル変革リーダー自己育成研究会

## 2023年度活動成果報告

2024年 4月11日  
日本電気株式会社  
株式会社DNP情報システム

山田 哲寛  
寶田 雅文

# 目次

第1章 研究会の概要・ねらい

第2章 本年度の活動内容

第3章 本年度活動のふりかえり

# 第1章

## 研究会の概要・ねらい

# 研究会の概要・ねらい

## デジタル変革リーダー自己育成研究会

オンライン

研究テーマ： 自らを「DXを通じた価値創出を主導するリーダー」に育成する手がかりを探る研究  
～どうしたら我々は経営から現場にわたる「企業組織というプロダクト」の価値を高める人物になれるだろうか？～

部会長 山田哲寛氏（日本電気株式会社）  
副部会長 寶田雅文氏（株式会社DNP情報システム）

### （1）研究会概要・方針

本研究会では、自分自身を「DXを主導するリーダー」に育成していくすべを探究します。本年度も外部の知見に学ぶ機会を通じて視野を広げ見識を深めると共に、目標となる存在や考え続けるべき問いとの出会いを期します。また、ワーク・議論の場では参加者自身が「価値創出とは」「リーダーとなるには」を自分ごととして考え抜き、学びを咀嚼して行動につなげることを目指します。活動時間は有限ですが「自己育成」に終わりはありません。日常に戻った「後」の行動変容の原点になる場をつくります。  
※ 原則的にオンライン開催を予定しています。合宿はありません。要望状況に応じて、会場開催の場を用意する可能性があります。

### （2）開催予定日（全7回）開催時間：14:00 - 17:00

7/19(水), 8/30(水), 10/11(水), 11/16(木), 12/13(水), 1/23(火), 2/27(火)

### （3）対象者

DXを通じた価値創出に問題意識を持ち、DXリーダーを目指している方。  
現時点の知識・経験のレベルは不問ですが、主体的にご参加いただくことで「成長角度」向上が期待できます。受け身の姿勢では効果が小さくなります。

### （4）申込時のお願い

チャット(Slack)、Web会議(Zoom)、Webホワイトボード(MURAL)の利用が前提であることをご理解の上、お申し込みください。  
各企業の秘密情報を研究会で使用することはありません。個人端末での参加も可能であるよう配慮します。

Copyright (C) 2022 JUAS All rights reserved

1

研究会の大きなテーマは、  
DX（と価値創出を）主導する  
リーダーに自分自身を  
育成すること。

研究会の時間は有限だが、  
会社に戻った「後」に  
行動変容を起こすことを  
目指している。

[デジタル変革リーダー自己育成研究会2023／2023年6月～2024年4月](#) |  
[JUAS seminar 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会セミナー](#)

## **第2章**

### **本年度の活動**

# (参考) 過去年度の活動概要

## ■ 2020年度 (研究会発足初年度)

- ・ 講演を3回開催 (JUASアカデミー)
- ・ 幹事団主催のワークショップを3回開催

**講演ダイジェスト1 石山 洸 氏** 株式会社エクサウィザーズ 代表取締役社長

**DX攻略地図 ~DXの成功確率を上げる論理的・定量的フレームワーク~**

- ・ DX攻略地図 (経営~市場までの全体像)
- ・ DXのひとつの理解 (社会価値・社会変革まで至るのが本当のDX)
- ・ エクサウィザーズのDXの実践事例

※講師から受け取ってほしいこと (招聘意図)

- ・ 視野を広げてほしい。"IT部門員"の狭い視野を脱却してほしい。
- ・ DXで価値を出すまでの道のり (地図) を描いてほしい。

<https://juaseminar.jp/seminars/view/3820008>

関係者限り | 2021/4/16 Jフェス・JUAS研究活動成果報告会  
JUAS デジタル変革リーダー自己育成研究会

**第1回:課題の具体化(デザインシンキングWS)**

Rose, Thorn, Bud + Affinity Diagram + Statement Starterという3手法を使い、**現状認識や愚痴を今後の自分の目標に変換**。

お題

あなたの職場の「DX」の状況について、教えてください。  
取り組みの姿勢や、実際に使っている/使おうとしているツールの評判など...

※実際には、複数枚作られる。

(3時間かかるが)「気軽な雑談」が、「なんだか立派な課題」に置き換わる。

関係者限り | 2021/4/16 Jフェス・JUAS研究活動成果報告会  
JUAS デジタル変革リーダー自己育成研究会

2020年度Jフェス活動報告資料より

## ■ 2021年度

- ・ ワークショップのみ
- ・ 分科会 (4チーム) それぞれが独自に設定したテーマでイベント (JUASラボ) を開催

**本年度の活動概要**

- ・ デジタル変革リーダー自己育成研究会
  - ・ 自らを「DXを通じた価値創出を主導するリーダー」に育成する手がかりを探る研究  
~どうしたら私たちは雑音と現場の想いに寄り添いながらデジタル変革を実現できる人材になれるだろうか?~
- ・ 今年度は分科会活動を主体に参加者自身でテーマ探求
  - ・ JUASラボで公開ワークショップを企画&主催

関係者限り | 2021/4/16 Jフェス・JUAS研究活動成果報告会  
JUAS デジタル変革リーダー自己育成研究会

**JUASラボ (当日ワークショップ)**

- ・ 分科会ごとに4テーマでワークショップを実施

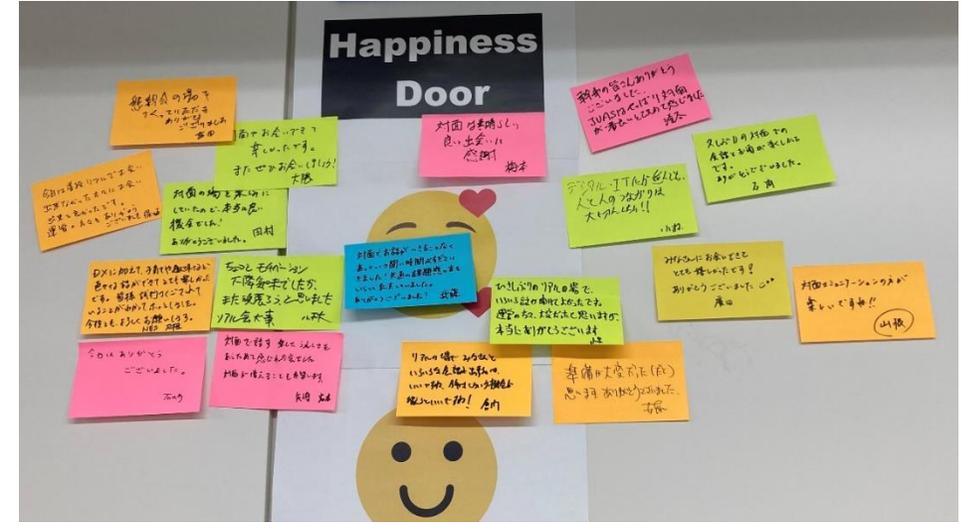
関係者限り | 2021/4/16 Jフェス・JUAS研究活動成果報告会  
JUAS デジタル変革リーダー自己育成研究会

2021年度Jフェス活動報告資料より

# (参考) 過去年度の活動概要

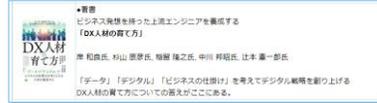
## ■ 2022年度

- ・ 講演を3回開催 (JUASアカデミー)
- ・ 幹事団主催のワークショップを3回開催
- ・ 初の会場開催 (臨時懇親会)



### 2022年度の活動 第2回 講演(JUASアカデミー)

講師の著書を事前に分担して要約する事前ワークを実施。活発かつ具体的な質疑・議論につながった。



### 2022年度の活動 第4回 講演(JUASアカデミー)

コーポレートITの変革者に必要なこと ~組織の現実とリーダーの本当の価値~

<https://www.juaseminar.jp/seminars/view/3822014>

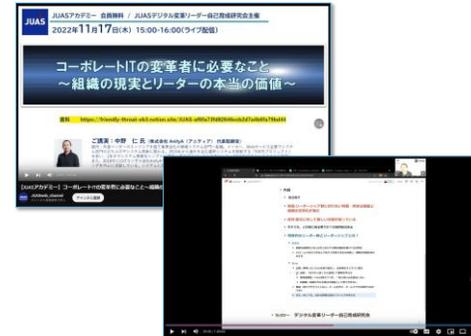
JUASアカデミーとして講演パート開催後、研究会メンバーだけの質疑・議論パートを開催

講演パート録画をYouTube JUAS Web Channelで公開中  
<https://www.youtube.com/watch?v=Ug2ThfhOvqg>

JUAS加盟企業の皆さんは、コーポレートIT(社内情報システム)に携わることが多いと思います。そして、そこで出会う課題がITやデジタル技術だけでは到底解決できないことも実感されているのではないのでしょうか。現場で本当にITを生かせる組織づくり、部門横断で協力してビジネス課題に立ち向かう文化醸成など、システムづくりとは別次元の困難に直面されていることでしょうか。

今回のJUASアカデミーでは、コーポレートIT領域変革の最前線で戦い続ける株式会社AnityA 代表取締役 中野仁氏をお招きし、システムに限らない企業の本質的な変化を実現するために必要なこと、必要な行動について伺います。

企業におけるITシステム刷新と組織変革の両方に造詣が深く、かつ実践者であり続けている中野氏。氏の視点に触れることで、漠然とした不安を真の危機感に変え、リーダーとして行動を起こしてみませんか？



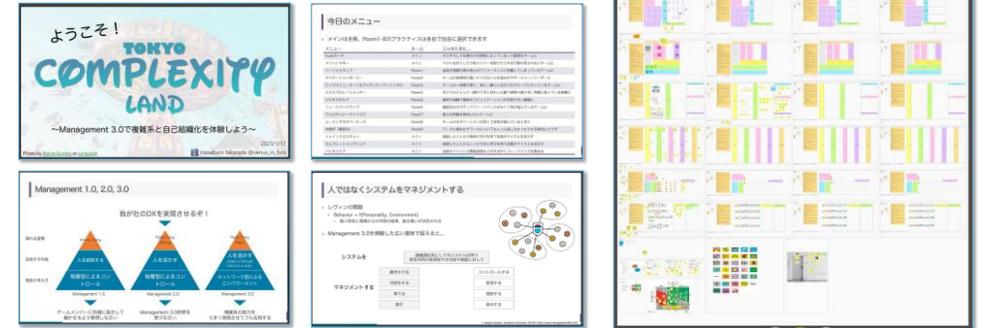
関係者限り 2024/4/11 Jフェス・JUAS研究活動成果報告会  
JUAS デジタル変革リーダー自己育成研究会

### 2022年度の活動 第5回 ワークショップ

ようこそ！ TOKYO COMPLEXITY LAND / Welcome to TOKYO COMPLEXITY LAND

<https://speakerdeck.com/takarada/welcome-to-tokyo-complexity-land>

Management 3.0の概説とプラクティスを通じて、複雑系と自己組織化を体験するワークショップを開催した。



関係者限り 2024/4/11 Jフェス・JUAS研究活動成果報告会  
JUAS デジタル変革リーダー自己育成研究会

2022年度Jフェス活動報告資料より

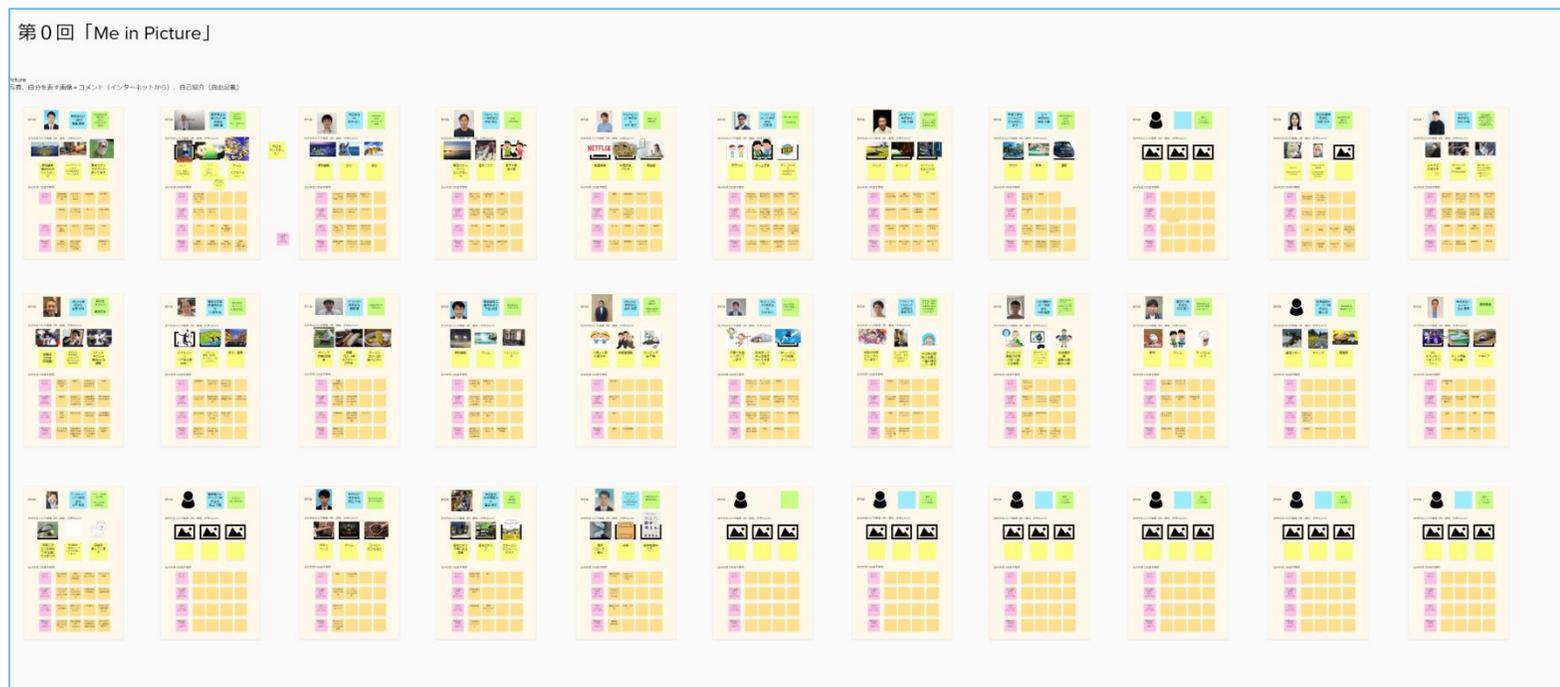
# 2023年度の活動

ワークショップ4回、講演3回（うちJUASアカデミー2回）を開催

#	活動種別	当日のテーマ	開催日
第0回	準備会	自己紹介シートの作成 オンライン接続環境の確認	6/9, 6/14
第1回	WS1	研究会キックオフ～ここから始める自己育成～	7/19
第2回	WS2	探しかたを探そう ～自分で世界を探索していくために～	8/30
第3回	講演1	『生成AI 最新事例とトレンド、未来予測』（JUASアカデミー）	10/11
第4回	WS3	ABD読書会 『DXビジネスモデル』	11/16
第5回	講演2	『コミュニティからのDXリーダー自己育成 三者三様のストーリーに刺激されよう』	12/13
第6回	講演3	『社内システムにこそ重要なプロダクトの構造、変化、差別化』	1/23
第7回	WS4	1年間の学びふりかえり&次やること宣言（コミットメント）	2/27

# 2023年度の活動 第0回 自己紹介（Me In Picture）

第0回（オンライン環境動作確認）で自己紹介シートを作成。  
どんな人が参加しているのかを互いに知る手がかりにした。（対面WSでは名札として使用）

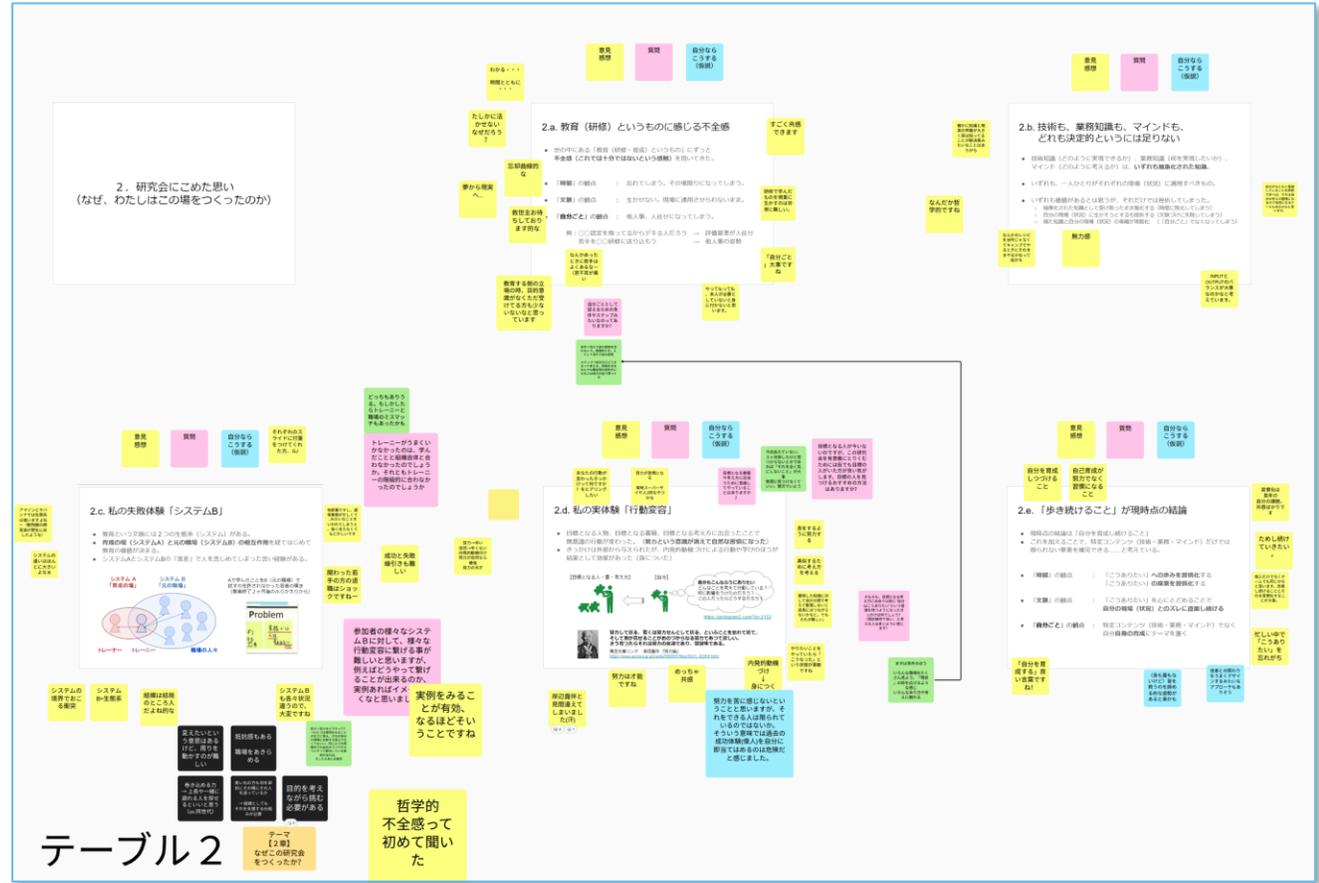


# 2023年度の活動 第1回 ワークショップ1

## 研究会キックオフ～ここから始める自己育成～

応募時の動機、思い描いていたリーダー像、研究会コンセプトを題材に問題意識を醸成した。

No	申込動機 (研究会への期待)	DXリーダーに求められる	自分が目指すリーダーの実例
1	「真の教育は自己教育」の言葉どおり、自分自身をリーダーに育成するというコンセプトを実現するために研究会を作った。 今年度の期待は2点。過去3年で実施できなかった試みを行うことが1つ。もう1つは、本研究会の「型」をある程度確立し、後継者に渡し得るものにする。	DXリーダーの素養 1. 大人(現実と折り合いをつける諦観)と子供(理想に燃える越境)が同居した基礎メンタリティ 2. 創業(現状の問題の打破)と守成(長期的な現実のメンテナンス)の両立を実現する能力と意志 3. 探索と学習を志向する習慣 4. 以上を実現できるチームまたはしくみを組成する能力	・熊澤番山 (1619-1691)、山田方谷 (1805-1877) : 学問(理想)と実務(現実)の双方を重視し、後世まで効果の続く業績を残したから ・書操 (155-220) : 当時の因習に囚われない政策(特に人材登用)を実行し、後世に残るシステムを残したから ・管仲 (?-前645) : 長期的かつ社会システム全体を円滑に動かすための政策を実行し、国を繁栄させたから
12	現在デジタル推進課に所属しており、Microsoft365などの活用促進を進めたいと考えています。 どうすれば、 <b>活用しやすく、使ってもらえる環境を作ることができるのか</b> 悩んでおり、研究会で知見を蓄積したいと考えています。	幅広い分野やツールに対する知見と、具体的なビジョンを説明できること。	デジタル推進課課長。 社内の各種ツールに関して精通しており、部下や他部署から上がってくる様々な情報をきちんと把握されている点、頭の回転の速さを尊敬しています。
13	同僚の[匿名化のため削除]が昨年度出席させていただき、ネットワークも含め、非常に有意義だったと伺いました。 小職はIT業界に転身してからまだ半年と日が浅いのですが、前職でユーザー企業での経験からも、日本企業でなぜここまでDXが進まないのか、変革するために何が求められているのか関心があります。また、この研究会を通して自己研鑽にあたっての知見や発見を得たいと期待しています。	・課題/ゴール設定能力 ・自社事業と自社機能に対する理解 ・自社内ポリティクスに対する理解 ・課題解決に向けた推進/巻き込み力 ・粘り強く取り組む力	目指すというのはおこがましいですが、前職で15年ほど一緒に仕事をさせて頂いた、経営の方の変革手腕・発想・心意気は身近で拝見していて非常に勉強になりました。 もう一緒に仕事はさせて頂いておりませんが、あの方だったらこの場合でどのように発想してどのように対応されているかな、と時々思い出します。
25	中期経営計画の中でも社員の体験化に向けた施策の打ち出しが重要な状況になっている中で、価値の定義を考え、自ら変革していく必要があると実感し、参加者の方々と意見交換しながら自分なりの考えを作りたいと思ったためです。	常にアンテナを高く張り、周りを巻き込む(モチベーション)力	個の力を最大限に生かしたチーム(ティール組織)エンゲージメントが高く保たれる状態は一定の権限移譲が必要であり一定の責任感があってこそ考えるため
26	入社8年目となり、次世代のリーダーを担う立場になってきたが、現時点で保有するスキルセットとマインドセットでは、今後システム部門に期待されるミッションの遂行が難しいと感じたから。 またシステム部門の人財育成も担当しており、この研究会で得た知見をもとに、社内のデジタル変革人財育成の方策に活用したいから。	・高いリスク許容度(失敗を恐れない) ・健全な承認欲求(社内内外へのアピール) ・新しいもの好き(新技術の導入に積極的) ・世話焼き(ユーザー部門との関係性構築)	映画「マイ・インタン」でロバート・デ・ニロ演ずる、ベン・ウィテカー 理由: ベンチャー企業ヘシニアインタンとして入社したことで挑戦する姿勢、誰も手を付けなかった執務環境の整備などの実直な仕事ぶり、経験に裏打ちされたボスや同僚へのアドバイスなどが非常に魅力的です。 穏やかな高年齢層であり、世間一般のリーダー像とは異なりますが、組織能力を向上させるのに必要なリーダーであると感じました。



# 2023年度の活動 第2回 ワークショップ2

探しかたを探そう ～自分で世界を探索していくために～

## ◆ワーク1 価値観や問題意識のふりかえり



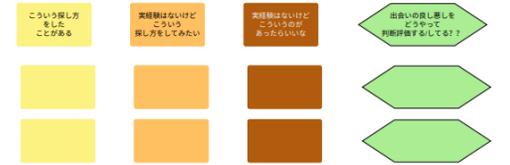
個人寄りの内容

自分で世界（知識やめざす目標、人）を探索していく方法と習慣を考えるためのワークショップを実施した。

※ 長期間温めてきた構想をやっと今年度ワークショップの形にできた。

## ◆ワーク2 "探しかたを探そう"

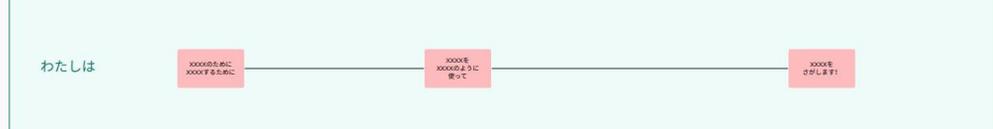
個人寄りの内容



## ◆2023年8月30日の宣言（コミットメント）



1か月後のふりかえり → むきなおり（めざす方向性の修正）



# 2023年度の活動 第3回 講演1

## 『生成AI 最新事例とトレンド、未来予測』(JUASアカデミー)

株式会社エクサウィザーズ 大植 拓真 氏による、生成AIの基本と最新動向についての講演。研究会メンバー限定の質疑応答を実施した。

**自己紹介**  
『DX推進/AI活用』『大企業×スタートアップ協業』に経営・実務双方で深く関与

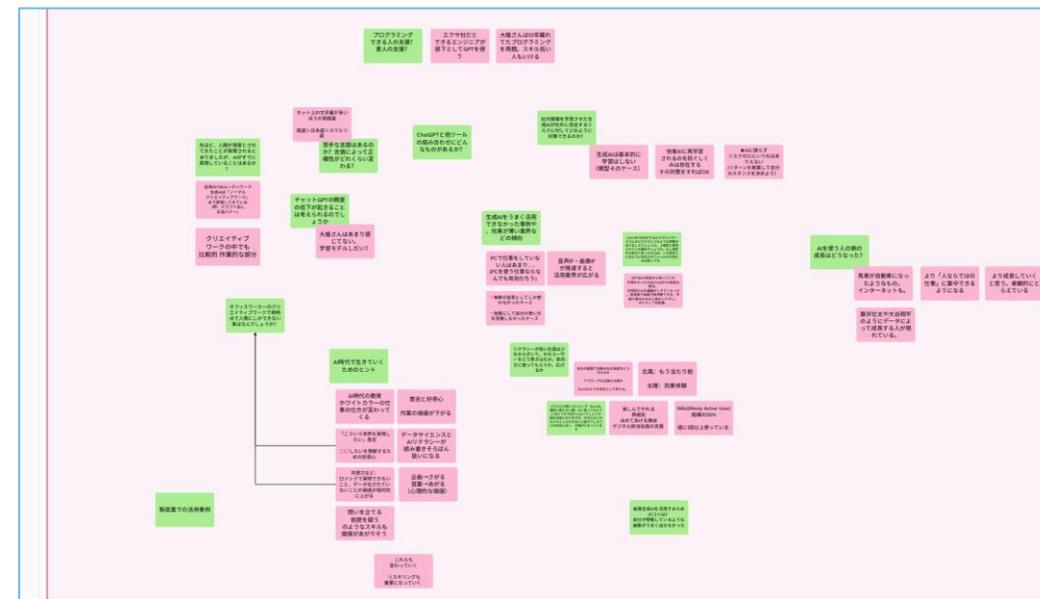
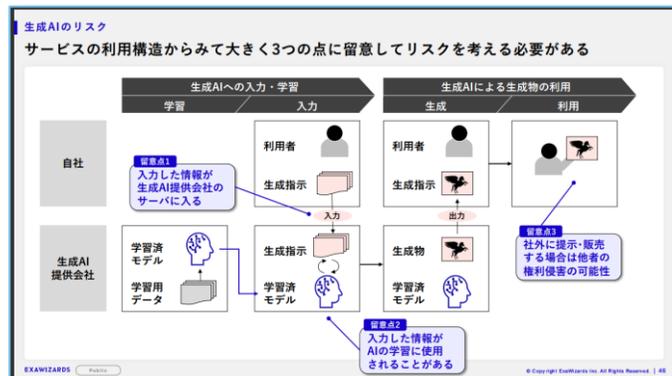
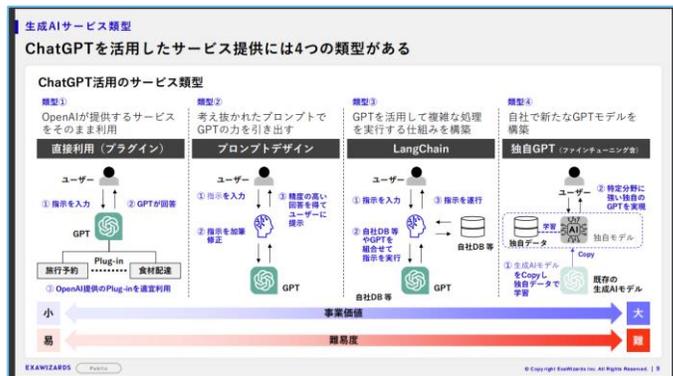


**大植 拓真**  
エクサウィザーズ常務取締役  
takuma.oue@exwzd.com  
Twitter: @exa\_ouetakuma

- 京都大学工学部卒業、京都大学工学研究科修了
- AI/データサイエンスの研究
  - 企業データを用いた事業継続性判定AI開発
  - 不動産ビッグデータ解析
- 2013年、外資系戦略コンサルティングファームのボストンコンサルティンググループ (BCG) に参画
  - 企業変革、デジタルトランスフォーメーション(DX)、顧客と密に協働した新規事業・新サービス開発
- 2018年、株式会社エクサウィザーズへ入社
  - AI事業責任者として、顧客企業のDX/AI導入実現を担当 (年間 300案件)
  - 2019/4: 執行役員、2020/6: 取締役
  - 2020/10: 兵庫県立大学客員准教授
  - 2022/8: 自著『Web3時代のAI戦略』発売
  - 兵庫県 生成AI戦略アドバイザー

**本日の内容**

- 生成AIの活用トレンド
- 今後予測される変化
- 生成AI活用成功企業の活用戦略と活用事例
- ChatGPTなどのカスタマイズによる機能拡張の具体例
- セキュリティリスクや正確性、コストなどの懸念への対策



会員限定無料・アカデミー【情シス・DX推進部門必見】  
生成AIの最新事例とトレンド、未来予測【オンラインライブ】

# 2023年度の活動 第4回 ワークショップ3

## ABD読書会 『DXビジネスモデル 80事例に学ぶ利益を生み出す攻めの戦略』

ABD(Active Book Dialogue)読書会を開催。研究会メンバー全員に書籍(DXビジネスモデル解説書)を配布。事前に立候補した有志メンバーが課題書籍を要約し、当日リレープレゼンを行った後、参加した研究会メンバー全員で内容についてディスカッションした。

The grid consists of 20 slides arranged in 4 rows and 5 columns. The columns are titled: Chapter. 1 DXの基本思想, Chapter. 2 場を創造するビジネス, Chapter. 3 非効率を解消するビジネス, Chapter. 4 需要を拡大するビジネス, and Chapter. 5 収益機会を拡張するビジネス. Each slide contains detailed text, diagrams, and bullet points. Some slides include terms like 'POC' and 'MVP'.

The slide is titled 'ABD (Active Book Dialogue) とは?'. It features two book covers on the left and a group photo on the right. The book cover is 'DXビジネスモデル 80事例に学ぶ利益を生み出す攻めの戦略' by 小野原 志. The group photo shows several people in a meeting setting.

The slide is titled 'われわれのNext Action 「自分ならどうするか」「これから何をするか」'. It features three red boxes at the top labeled 'みんなのAction [1]', 'みんなのAction [2]', and 'みんなのAction [3]'. Below these boxes is a flowchart with various text boxes and arrows, detailing specific actions and next steps.

# 2023年度の活動 第5回 講演2

コミュニティからのDXリーダー自己育成！ 三者三様のストーリーに刺激されよう & 学びを見つけよう！

社内コミュニティを通じて一步を踏み出し、道を切り拓いている三者（寶田さん、近藤さん、小泉さん）による講演。研究会メンバーとのディスカッションも盛り上がった。

コミュニティからのDXにおける自分の志向性 (好みでもあり、カルマでもあり) DNP

- 非公式ボトムアップからの組織変革としての持特
  - 「仕事だから」をドライバーにしない
  - 非公式ボトムアップとしてのコミュニティの領域から変革にリーチすることへのこだわり
- そこから得たチェンジエージェントとして変革をマネジメントするためのカイバリティ
  - だからこそ自分が最も機能する場は変革が必要な逆側にあるという宿命
- 加えてREBELな姿勢をWILLとする個性
  - "RUBI" MANAGEMENT IS ATTITUDE, NOT STYLE
- 信念/価値観をスクラムっぽく5つの単語で表すと(書きすぎます！)

現場 実践 自律 中動 覚悟

変革の意識とアプローチ DNP

VFの中でやっていた取り組みも、部内勉強会でもやっていたと面談で部長に相談したところ...

心理的安全宣言快諾!!!

心理的安全宣言!

※このとき部長も勉強会の参加者に悩んでいたことも大きな要因

InsurTech Lab. 過去と未来に向けてのエネルギー

経験と勇気がレバレッジとなり、次の段階を引き寄せる  
失敗しても1段階戻る安心が、勇気を持続させる

自分1人で試してみた

チームで試してみた

Agile Japan  
Social Impact Agile  
ONLINE  
September 19th & 17th, 2023

ステークホルダーと試してみた

チェックイン

◆寶田 雅文氏 (DNP情報システム 課長)  
<概要>  
DNP情報システムはこれまで社外のコミュニティイベントに会社の名前を出して講演していくような動きを積極的に実施していったような会社ではなかったのですが、今年からMXプロジェクトの活動として注力しています。そういった経緯で8月にスクラムフェス仙台で講演した内容がありますが、この内容のダイジェストとその後社内になんという変化が起きているか/起ころうとしているかについてお話ししつつ、自分の「DXリーダー自己育成」観についても触れるつもりです。  
[20230826\\_ScrumFestSendai2023 \(dnpis.jp\)](https://20230826_ScrumFestSendai2023(dnpis.jp))

◆近藤 久登氏 (DNP情報システム エンジニア)  
<概要>  
自分のことが嫌いなただ開発がしたいだけの開発者が、どうして社内コミュニティでマネジメントの変革を働きかけ、社外イベントに登壇するようになったのか。主観による世界の見え方がどう変わったのか、マインドがどう変わったのか、自分のことが嫌いな人・一步を踏み出したいけど勇気が出ない人が変わっていった自己育成の実体験をお話します。

◆小泉 岳人氏 (ニッセイ情報テクノロジー株式会社 室長)  
<概要>  
アジャイルジャパン2003で登壇した内容をベースに、DX自己育成リーダー研究会の参加前後の状況、「JTCの中間管理職」をキーワードに変容を起こすポイントを自分の経験に基づいてお話しします。具体的な1歩を踏み出すための勇気や仮説検証/アジャイルを軸にしたDXへの取り組みについての理解が得られると思います。

[AgileJapan2023登壇資料 | ドクセル \(docswell.com\)](https://AgileJapan2023登壇資料 | ドクセル (docswell.com))

2人目(近藤さん)講演部

3人目(小泉さん)講演部

# 2023年度の活動 第6回 講演3

## 『社内システムにこそ重要なプロダクトの構造、変化、差別化』(JUASアカデミー)

株式会社witch&wizards 森雄哉 氏によるプロダクトという概念の基本(構造 変化 差別化)についての講演。研究会メンバー限定で、周囲にあるものや仕事をプロダクトとして捉え直すための練習ワークを実施した。

**森 雄哉 MoriYuya**

POやプロダクトマネジメントのコーチをしています！  
プロダクト作りを通して、いきいきとしたチームやユーザーに貢献する活動をしています！

**プロダクトとは顧客の思いに応えるもの**

「音楽を聞きたい」と頭の中で思っても、それだけで聞こえてきません。スマートフォンにダウンロードして再生したり、アーティストのライブに参加したり、何らかの方法が必要になります。

私たちの思いが実現できるように提供される方法がプロダクトです。この思いをニーズ(Needs)と呼びます。

思っただけでは実現されない  
音楽が聞きたいな → 音楽が聞きたいな

プロダクトによって実現される  
音楽が聞きたいな → [スマートフォン] → 音楽が聞きたいな

**プロダクトには構造がある**

ファミリー向けカメラのパンフレット

- ・パンフレットの表紙 子供の劇的瞬間といった顧客が得たい体験
- ・パンフレットの前半 カメラの特徴の紹介
- ・パンフレットの後半 周辺機器やカメラ撮影教室の案内

**顧客の関心の段階に合わせて要素を紹介している**

顧客の認識に合わせて要素を紹介する

**プロダクトは変化する 要素の変化編**

音楽の都度購入 vs 音楽の定額利用

	体験価値	中核要素	間接要素
変化前	音楽視聴	1曲ずつ購入	購入前の視聴
変化後	曲との出会い	定額利用	プレイリスト

**- 差別化とは -**  
様々な選択肢から  
ユーザーがあえて選ぶ  
特徴を作ること

**- 練習ワーク -**  
プロダクトから  
体験価値、中核要素、間接要素を  
抽出してみよう

**エクササイズ**

便利のままでまわりをほくして製品の構造を理解する練習をしてみよう。プロダクトの体験価値、中核要素、間接要素を抽出しよう。パンフレットや、製品パッケージが参考になる。

プロダクト	体験価値	中核要素	間接要素
スマホの音楽アプリ	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
ECサービス	買い物をする	商品選択、支払、配送	商品、購入履歴、保証
書籍	読みたい本を探す	欲しい本、お気に入りの本	ブックマーク、お気に入り
デジタルカメラ	写真を撮る	撮影、出力	高画質、防水機能
電車	乗車する	乗り場、正確な運行	安楽座、トイレ設備
新聞	読む	記事の内容、見出し	見出し、見出し
社会的プロダクト	社会の発展	社会の発展、教育、福祉	社会の発展、福祉、教育、福祉、社会の発展

テンプレート

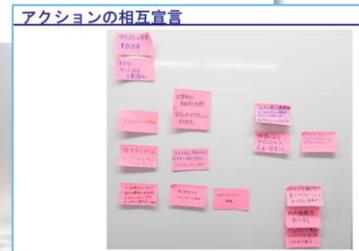
製品名	体験価値	中核要素	間接要素
プロダクト A	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト B	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト C	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト D	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト E	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト F	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト G	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト H	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト I	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト J	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト K	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト L	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト M	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト N	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト O	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト P	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト Q	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト R	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト S	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト T	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト U	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト V	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト W	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト X	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト Y	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード
プロダクト Z	音楽を聴く	購入、再生	試聴、再ダウンロード

【会員限定無料・アカデミー】社内システムにこそ重要なプロダクトの構造、変化、差別化【オンラインライブ】

# 2023年度の活動 第7回 ワークショップ4（人形町 JUAS会議室）

1年間の学びふりかえり&次やること宣言（コミットメント）を実施した。

- 1.概要説明
- 2.アイスブレイク（名刺交換）
- 3.本年度の活動ふりかえり（ワイガヤ）
- 4.自己育成アクション作成（話しながらワーク）
- 5.アクションの相互宣言（発表）
- 6.懇親会

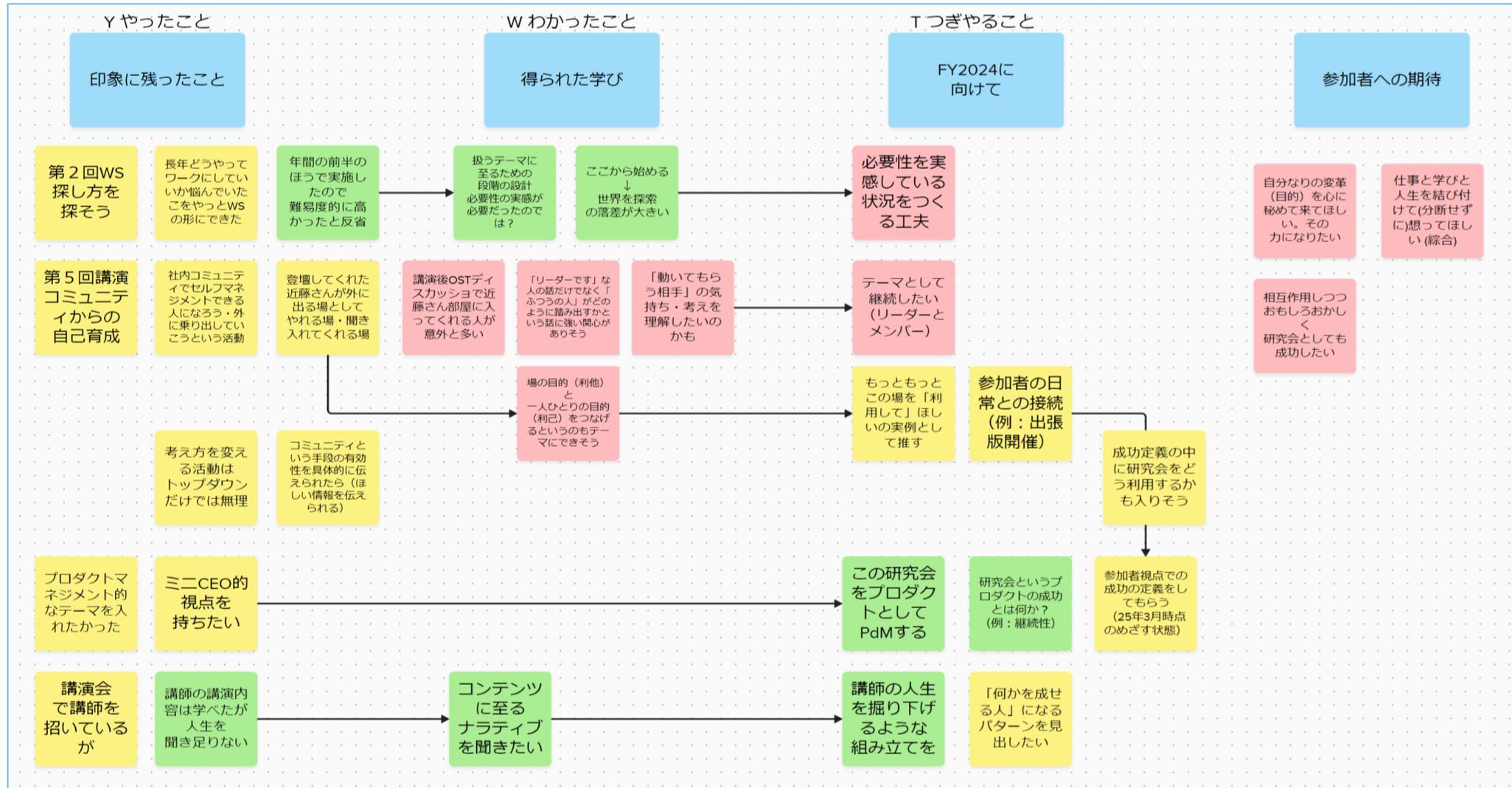


## **第3章**

### **本年度活動のふりかえり**

# 今年度活動の振り返り（幹事団）

FY2023の研究会活動の振り返りと次年度の展望について、幹事団（山田、寶田）で対話した。



# 近日開催！

## 【JUASアカデミー】コミュニティからのDXリーダー自己育成～三者三様のストーリー～

JUAS

デジタル変革リーダー自己育成研究会主催

参加費無料

JUASアカデミーオンライン

JUASデジタル変革リーダー自己育成研究会では、自分自身を「DXを主導するリーダー」に育成していくための探究をテーマとして活動しています。今回は、研究会の講演をJUASアカデミーとしてお届けします。JUAS会員企業の皆様もぜひご参加ください。  
※本アカデミーはZoomミーティングでのオンライン配信を予定しております。

### コミュニティからのDXリーダー自己育成 ～三者三様のストーリー～

2024年4月16日(火)14:00-16:00ライブ配信

春。新年度がはじまり、新しい事を始めたい方が多いのではないのでしょうか。社内に留まらず、社外のコミュニティに踏み出した3名の事例をお届けします。DXの実現やDXリーダーになるために「コミュニティ」というアプローチで何が出来るか。具体的な方法、それにつながるヒント、一歩踏み出すための後押しや勇気をお持ち帰りください。



**寶田雅文氏**  
株式会社DNP情報システム  
システム第3本部コミュニ  
ケーションサービス部  
第2課 課長



**近藤久登氏**  
株式会社DNP情報システム  
システム第4本部 システム  
第3部 第3課  
エンジニア



**小泉岳人氏**  
ニッセイ情報テクノロジー  
株式会社  
保険インフラ事業部  
Insurtech推進室室長



新しい一歩を踏み出す春に

申込URL: <https://juasseminar.jp/seminars/view/3824001>

一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)  
お問合せはseminar@juas.or.jp



<https://juasseminar.jp/seminars/view/3824001>

以上